



▲ちびっ子鬼が豆をおねだり（清水寺・虫幡）



▲室内なので皆に福がいきわたります（真浄寺・沢）



▲大勢の参拝客が集まりました（観福寺・牧野）



▲福豆を配る氏子の皆さん（山倉大神・山倉）

市内各地で節分祭・節分会

今年も幸せが訪れますように

2月3日、市内各地で節分祭・節分会が行われ、福を分けてもらおうと多くの人が集まりました。

栗源地区の真浄寺では、本堂内で豆まきが行われます。大豆はもちろん、お菓子や殻付きの落花生も「福は～内！」と勢いよく投げられました。

山田地区の山倉大神では、参拝者に番号が書かれた「福豆」と呼ばれる袋が配られ、直所でその番号の商品と交換します。さらに、今年は抽選会も開かれ、たくさんの方が今年の運試しを楽しんでいました。



税関教室

税関密輸は許さないワン！



▲見事スーツケース内の麻薬を発見

北佐原小学校で1月18日に税関教室が開かれ、5・6年生の46人が参加しました。児童たちは、用意されたスーツケースから麻薬などの密輸品を探したり、ブランド品の偽物を当てたりするなど、講義だけでなく実際の税関の業務を体験しました。

麻薬探知犬のデモでは、「今日は大きい子を連れてきました」と紹介された通りの立派な2頭（ウォーズ号・ファーナ号）が登場。子どもたちはびっくりしながらも、おとなしくやさしい性格の麻薬探知犬に「かわいいなあ」と笑顔を見せていました。

香取シニア選手が日台国際野球大会で優勝

チームの絆が勝利のカギ

12月29日から1月2日まで、台湾で行われた日台国際野球大会に出場した東関東チームのメンバーとして、香取シニアから古谷将也さん（佐原イ）と松山大悟さん（佐原イ）が、コーチとして羽生惣亮さん（佐原口）が参加。全20チームで争われ、東関東チームは見事優勝しました。参加した2人は「日本と比べて土が固かったので戸惑いましたが、チームの仲間と意識的に声をかけ合うことを心がけてプレーしました。最終的にチームが仲良くまとまっていたのが良かったと思います」と感想を語ってくれました。



▲最終戦に勝利し、コーチを胴上げ



わが家のアイドル♡

もりた ゆら
森田 結桜ちゃん

1歳10カ月(佐原イ)
パパ 建二さん ママ 由香利さん



にいとお祭りごっこが大好き♡

ふじさき はあと
藤崎 愛士くん

1歳10カ月(府馬)
パパ 佑貴さん ママ 尚子さん



元気いっぱい♪ 我が家の三男☆

むらやま はるま
村山 晴柁くん

1歳10カ月(佐原口)
パパ 純一さん ママ 陽子さん



お散歩大好き♪

しらとり さら
白鳥 紗来ちゃん

1歳10カ月(油田)
パパ 孝幸さん ママ 布美子さん



「おいし?」「みて」「アイス」が口癖♪

おがた さえ
尾形 彩衣ちゃん

1歳10カ月(香取)
パパ 充俊さん ママ 沙代子さん



我が家の食いしんぼうプリンセス♡

いづみ あいか
泉 愛香ちゃん

1歳10カ月(小見)
パパ 一到さん ママ 幸子さん

小見川総合病院だより vol.4

香取市東庄町病院組合が運営している国保小見川総合病院の診療内容をシリーズでお届けします。

連携して緻密な画像診断を

充実した医療機器と安全な検査

放射線科は、CT・MRI・心カテーテル装置（血管撮影装置）・X線テレビ装置・マンモグラフィ装置・骨密度装置などで、画像診断による診療をサポートしています。椎間板ヘルニアなどでは、症状の原因を見つけるために当科独自のMRI撮影法を用いて手術前後の撮影を行います。狭心症や不整脈の心臓CT検査では、動く血管をシャープに写し出せる、専用の画像処理ワークステーションで病変を見つけます。いずれも医師と連携して画像の確認を行うことを重視して検査を進めています。



放射線科長
瀧口 広

また、検査はできるだけ少ない放射線量で行うことが大切です。備えている装置は低線量でも撮影が行え、病態や年齢に応じて技師が適切に線量を調整しています。特に、心カテーテル治療ではリアルタイムで線量を監視しながら治療を進めます。

無理なく検査を受けていただくために

外来を受診した皆さんの診断が円滑に行えるように、X線撮影やCTを当日に行える業務体制をとっています。また、検査時間の長いMRIは、予約時間帯を夕方や休日にも設け、無理なく検査を受けていただけるようにしています。

やさしく、そして熱意を込めて

当科の検査は病状が一番辛い時に、その原因を見つけるために行われます。撮影台に寝ることや撮影の体位をとることが辛い場合は、できるだけ苦痛がないように対応します。スタッフ一同、今後も撮影技術向上に熱意を込めて、より良い画像診断を目指していきたいと思っています。

さわら軒先コンサート

伝統あるコンサートホールに

1月21日、町並み交流館で千葉交響楽団の弦楽器奏者4人による弦楽四重奏のコンサートが行われました。クラシック、洋楽、邦楽、映画・テレビ番組のテーマ曲などバラエティーに富んだ全12曲が演奏され、第1・



▲素晴らしい演奏に万雷の拍手が

第2バイオリン、ビオラ、チェロから奏でられる息の合ったハーモニーが館内に響き渡りました。コンサートを鑑賞した来場者は「毎年このコンサートを楽しみにしています。また来年も来てほしいです」と、早くも来年の開催が待ちきれない様子でした。

香取郡市スポーツ少年団地域交流大会

かけっことは、いつでも本気!

1月22日、香取郡市で活動しているスポーツ少年団が、競技の垣根を越えて、佐原河川敷緑地で交流大会を開き、約300人の小学生が参加しました。行われた種目は、学年別のミニマラソンとチーム対抗駅伝。交流大会といっ



▲たすきを受けて、全力疾走!

ても、いざ競走、となればスポーツマンの血が騒ぐのか、レース前は「負けないぞ!」と本気の表情の子どもたち。スターターピストルが鳴ると、晴れ渡る冬の青空に、「がんばれー! いけー!」とレース中の選手を追いかけながら応援する仲間たちの声が響きました。

外国人観光客受入セミナー

地元自慢が人惹きつけ

2月1日、佐原中央公民館で“東北の魅力の世界へガイドする”インバウンド観光プロデュース会社・アトラク東北(株)の代表取締役、後藤光正氏を迎え、地域資源を活用したインバウンドの取り組みについて講



▲「自分ゴトに置き換えることが大事」と助言

演が行われました。「ありきたりのガイドだけではなく、“^{アイ}メッセージ(わたしのオススメ)”をどれだけ持ち寄り、共有し合うかが大事。“おもてなし”という大層な感じですが、“思いやり”と置き換えると気軽に接しやすくなるのでは」と、増えゆく外国人観光客との交流の大切さを説く言葉に、参加者は聞き入っていました。